

地上デジタル放送

アナログテレビ放送は 7月24日までに終了



地上デジタル放送への視聴環境対応をお忘れなく

■ 地デジ化に関する詐欺や悪質商法などにご注意ください

アナログテレビ放送は、今年7月24日（日）までに終了します。

近ごろ、アナログ放送のデジタル化に便乗した詐欺が発生しています。地上デジタル放送に関する誤った情報や不十分な情報に基づいて、関連商品やサービスを売りつける悪質商法です。ご注意ください。

地デジ化するにあたって、テレビ調査員や工事業者と名乗って不正請求を行ったり、郵便による「振り込め詐欺（架空請求）」を行ったりする例が起きています。

国や放送局が、地上デジタル放送に関してお金を請求することは絶対にありません。

「あれ？、おかしい？」と思った

ら、警察やデジサポ熊本へご連絡やお問い合わせください。

● こんな詐欺が増えていきます

- ・業者が、地デジ普及のためと言って集金にやって来た。
- ・地デジ工事をかたって、前金をだまし取られた。
- ・総務省（デジサポ）と名乗る職員が訪問し、地デジに関する費用を請求された。

● 詐欺の被害に遭わないために

- ・頼んでいないことに対する請求や覚えのない請求は、はっきり断る。
- ・怪しい訪問者を、絶対に部屋に上げさせない。
- ・訪問者の名前や連絡先などを聞いてメモし、身分証明書の提示を求める。
- ・一人で判断せず、ご家庭や信頼できる近くの電器店、デジサポなどに相談する。

▼ お問い合わせ先

デジサポ熊本（総務省熊本県テレビ受信者支援センター）

☎ 096・300・8800

※受付時間は、平日・午前9時～午後9時、土・日曜日、祝日・午前

9時～午後9時です。

町企画推進課 ☎096-234-1111(内線233) ✉k1g104@town.kosa.lg.jp

産業後継者育成

■ 4組のカップルが誕生♡

甲佐町産業後継者育成対策協議会主催でふれあい交流会「I&愛」を2月6日（日）に開催しました。今年度第5回は「バレンタインデー」をテーマにケーキ作り、城南町火の君文化センターで開催し、独身の男性・女性各8人が参加しました。

最初に、協力して調理するペアを決めるため、運命の赤い糸に見立てたひもを参加者がたぐり寄せて男女のペアが決まり、ケーキづくりに挑戦。個性豊かなトッピングやラッピングを工夫した作品が仕上がりに、笑顔に包まれました。

調理の後は、ボウリングを楽しむなど順調に交流を深め、4組のカップルが誕生。交流会終了後も、男性が準備した懇親会で自主的に出合い

を楽しみました。

【参加者のコメント】

- ・初参加でしたが、苦手な料理もペアだったので楽しめました（男性）
- ・何人かと後日に会う約束をしました。再会が楽しみです（女性）

■ 登録者・参加者を募集中

ふれあい交流会「I&愛」では、独身男女の皆さまに「出合い」の場を提供しています。

毎回、数組のカップルが誕生している人気の企画で、すでに真剣交際をされているカップルもあります。

異性と出合いが少ない、うまく異性と友だちになれない、良い出合いがあれば結婚をと考えている…など、そんな皆さんに「I&愛」が新しい出合いを応援します。

▼ 登録・参加要件

男性・町内在住者で20歳～49歳の独身、女性20歳～49歳の独身

▼ 現在の登録者数

男性31人、女性89人

▼ お申し込み・お問い合わせ先

甲佐町産業後継者育成対策協議会「ふれあい交流会」専用ダイヤル

☎ 080・1705・5339

（事務局・藤本）

「ふれあい交流会」専用メール

✉ kosa_hu-kouryukai@docomo.ne.jp

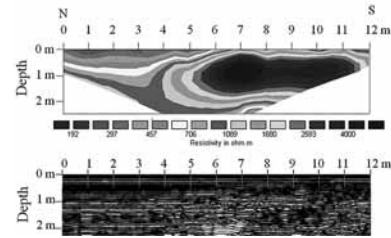
「ふれあい交流会」の 参加者募集のお知らせ



第5回はバレンタインデーのケーキを一緒に調理

町産業振興課 ☎096-234-1111(内線153) ✉k1g206@town.kosa.lg.jp

史跡「陣ノ内館跡」発掘調査レポート# 8



科学的な手法で調査した館跡南側斜面の堀の状態

■掘らずに推理する陣ノ内館跡 (パート2)

今月号のレポートは前月号に引き続き、熊本大学工学部の協力により実施した陣ノ内館跡の「レーダー探査」および「電気探査」の内容と結果を報告します。

●熊本大学工学部との共同調査

調査にあたって重要になったのは、どこを調査するのか、また機器を用いて調査した推測の部分と実際の形がどのように異なるのかを確認しなければならぬということでした。

そこで熊大と協議を行い、昨年の発掘調査で100cm以上の堀を発見した南側斜面のうちで、今年追加で発掘調査を行う堀の延長部分とその周辺を調査することになりました。

機械による調査対象は、東西38m×南北12mの456平方メートル、レーダー探査は1メートル間隔で行い合計39か所、電気探査は機器の設置・回収に時間を要するため2か所堀の断面を調べました。

●科学的な調査で堀の存在を推定

上の画像が調査の断面結果で、上が電気探査、下がレーダー探査の画像です。上下とも4〜5メートルの間で大きな反応があり、画像の右側(南側)にも反応がみられます。

このことから、南側斜面の調査で掘っていない場所でも、堀の形を推測でき、堀の南側には東西に石が一面に広がるのが分かるとともに、堀は西側から東側に向かって幅が広がっていることも分かりました。

館跡には「木戸丸(きどまる)」という地名が残っていて、この地名は城の入口と考えられる場所を指します。この場所にも堀が通っていることから、堀を渡り城に入るために、木の橋を用いていたかもしれません。

今回、レーダー・電気探査を行った地点は、現在発掘調査を実施中です。今後の発掘調査の成果と併せて、探査結果を検証します。

その検証結果は、また後日ご報告します。

町教育委員会社会教育課 ☎096-234-1111(内線324) ✉klg110@town.kosa.lg.jp

■懇話会でのこれまでの取り組み

町では「男女がともに自立し、支えあう、住みよいまち」を目標に、「甲佐町男女共同参画計画」を策定しています。

私たち甲佐町男女共同参画社会推進懇話会委員は、町の担当係と一緒に、先進地研修で益城町や宇城市の訪問したり、「上益城男女共同参画計画策定パワーアップ講座」を受講したりするなど、自己の研修に努めるとともに、町民への「住民アンケート」なども基に意見を出し合いました。計画策定後は、確かな実践がなされているか、皆さんと一緒に見守り、考え、建設的な意見を出し合い、よりよい町にしていかなければなりません。

また、懇話会では男女共同参画社

男女共同参画社会推進懇話会の活動について



男女共同参画について話し合う懇話会での会議

会推進の第一歩として、自分たちの身の回りから男女の固定的役割分担や男女間の格差など話し合いました。その中で今までも何も考えず当たり前だと思っていたことに、「おや？」と気づくことがありました。いろいろな統計資料などから世界の中での我が国の状況や意識調査から見えてくることなど、学ぶことが多々ありました。そこで、このコーナーで、会員一人ひとりが、学んだことや考えたこと、仕事や日常生活の中からの思いなどを書きました。皆さんに読んでいただくことにより、男女共同参画について理解を深め、さらにもっと積極的に取り組むべきかを考えていただければ幸いです。

これから、ますます少子高齢社会へと進みます。誰もが住みやすい男女共同参画社会の実現を目指して、懇話会では、私たち自身の意識を高めるとともに、学んだことを地域に発信して皆さんとともに歩んでいきたいと考えています。(甲佐町男女共同参画社会推進懇話会長・佐藤美紀子)

▼お問い合わせ先

甲佐町男女共同参画社会推進懇話会(事務局・町住民生活課内)

☎096-234-1111
(内線102)

町住民生活課 ☎096-234-1111(内線102) ✉klg106@town.kosa.lg.jp